

藤谷みき子 ふじたに みきこ 歴史家、随筆家。明治三十七年山口縣生れ（一九〇四）。大正十三年東京女子高等師範學校文科卒。常盤松高等女學校教諭時代、毎日新聞社の懸賞論文「一九〇六年史」に応募して一等入選、「皇國一九〇六年史」（昭和十五年二月十一日大阪毎日新聞社・東京毎日新聞社）と題して出版せられ刊行五十萬部を達した。他、英語、スペイン語、支那語にも翻譯せられた。次で昭和十九年、同社へ募り「佛教の日本國民性に及ぼしたる影響」が入選、徳喜蘇峰賞を受けた。二十六年蘇峰秘書となり「近世日本國民史」完成に參與。

他に「蘇峰先生の人間像」（昭和二十二年一月二十日明治書房）、「追想の徳喜蘇峰」（合著・荒木精之編、昭和二十三年十一月二日熊本・日本談義社）、「隨筆 心のうらら」（昭和二十九年四月一日金剛出版株式會社）、「次善き人生の心」（昭和五十五年十一月二十五日風濤社）等。

